

千里山地区等における乗合交通実証実験及び市民アンケート調査結果

(概要版)

平成 31 年 3 月

吹田市

土木部総務交通室

… 目次 …

1.	アンケートの実施概要.....	1
1.1	目的.....	1
1.2	概要.....	2
2.	調査結果.....	3
2.1	乗客アンケート調査.....	3
2.1.1	乗客アンケート調査について.....	3
2.1.2	集計結果の概要.....	3
2.1.3	集計結果.....	6
2.1.4	乗降場所の整理.....	14
2.1.5	(参考) 実証実験バスの乗降車数.....	15
2.2	千里山駅西側地域 市民アンケート調査.....	17
2.2.1	千里山駅西側地域市民アンケート調査について.....	17
2.2.2	集計結果の概要.....	17
2.2.3	集計結果.....	19
2.3	千里山駅東側地域 市民アンケート調査.....	26
2.3.1	千里山駅東側地域市民アンケート調査について.....	26
2.3.2	集計結果の概要.....	26
2.3.3	集計結果.....	27

1. アンケートの実施概要

1.1 目的

千里山駅周辺においては、これまでバス路線が設定されていなかったことから、公共交通の導入が求められており、市では平成 16 年度及び平成 29 年度に地域公共交通のニーズに係る市民アンケートを行っている。

本アンケート業務では、上記の調査結果を踏まえるとともに、千里山駅東側地域において、平成 30 年 3 月に都市計画道路千里山佐井寺線が開通したことに伴い、新たな路線バスが阪急千里山駅に乗り入れられたことから、公共交通の環境が変化した状況における新たな乗合交通に関する地域の需要を把握することを目的とする。

また、千里山駅西側地域において実施する実証実験バスの運行に関する認知度、評価、今後の公共交通に係るニーズ等を把握することを目的とする。



図 1.1 千里山駅周辺のバス路線の状況

1.2 概要

アンケート調査は、千里山駅東側及び西側地域において以下のように実施した。

表 1.1 アンケートの概要

	市民アンケート	乗客アンケート
実施時期	実証実験バス運行と平行して実施。 平成 31 年 2 月 16 日（土）～3 月 1 日（金）の 14 日間	実証実験バス運行期間中。 平成 31 年 2 月 16 日（土）～3 月 1 日（金）の 14 日間
対象者	以下の地域の 15 歳以上の市民から、それぞれ 1,000 人ずつ無作為抽出 【千里山駅東側地域】 ・千里第二小学校区 ・佐井寺小学校区の一部（佐竹台小学校区の一部を含む） 【千里山駅西側地域】 ・千里第三小学校区 ・千里新田小学校区（桃山台小学校区の一部を含む）	実証実験バスの乗客全員
調査手法	郵送配布・郵送回収	車内配布・郵送回収
調査内容	【千里山駅東側地域の新規路線バスに関する意向】 ・新規路線バスの認知度 ・新規路線バスの利用状況 ・新規路線バスの評価 ・新規路線バスによる外出の変化 ・利用しない理由 【実証実験バスに関する意向】 ・実証実験バスの認知度 ・実証実験バスの利用意向 ・利用した場合の評価 ・利用しなかった場合の理由 【千里山駅西側地域への乗合交通の導入に関する意向】 ・バスサービスが開始した場合の利用意向 ・地域に望ましい公共交通のサービス形態 【属性等】 ・属性及び身体状態 等	【実証実験バスの利用状況】 ・乗車回数 ・乗車目的及び乗車区間 【実証実験バスの評価】 ・実証実験バスの評価 【千里山駅西側地域への乗合交通の導入に関する意向】 ・バスサービスが開始した場合の利用意向 ・地域に望ましい公共交通のサービス形態 【属性等】 ・属性及び身体状態 等

2. 調査結果

2.1 乗客アンケート調査

2.1.1 乗客アンケート調査について

(1) 目的

千里山地区等における交通対策検討のため

(2) 実施期間、配布数、回収数、対象者

- ①実施期間：平成31年2月16日（土）から
平成31年3月1日（金）までの14日間
- ②配布数：3,349票
- ③回収数：2,238票（回収率 66.8%）
- ④対象者：実証実験バス利用者

注) 構成比の数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、個々の集計値の合計が100%とはならない場合があります。また複数回答可の場合、構成比の合計は100%にはなりません。

2.1.2 集計結果の概要

(※以下、回収数2,238票に対する割合を示す。)

(1) 属性

①性別の内訳

男性32.4%、女性64.1%、無回答3.5%、

(H29：男性40.4%、女性56.2%、無回答3.4%)

②年齢の内訳

20歳未満1.0%、20～30歳代14.7%、40～50歳代20.2%、60歳代22.2%、70歳代24.8%、80歳代以上13.9%、無回答3.4%

(H29アンケート結果：24歳以下7.2%、25～65歳未満60.5%、65歳以上の合計29.8%)

③居住地の内訳

春日24.1%、千里山西17.5%、千里山竹園10.9%、江坂町10.6%、千里山駅東側9.0%、千里山東2.5%、千里山（以下不明）3.4%、南千里駅東側2.0%、桃山台1.9%、吹田市外1.7%、山田・北千里方面1.4%、吹田・岸辺方面1.0%、千里中央方面0.7%、名神南側0.3%、江坂方面0.3%、無回答12.6%

(2) 実証実験バスについて

①どのような外出の際に利用したか

買い物・娯楽・社交の外出の場合が全体の 59.4%、通院や福祉施設へ行く場合 9.7%、通勤・通学・仕事で外出の場合 8.2%、市役所や郵便局・銀行などへ行く場合 5.8%、その他・無回答 17.0%

(H29 アンケート結果)

買い物・娯楽・社交の外出の場合が全体の 68.0%、通院や福祉施設へ行く場合 54.3%、市役所や郵便局・銀行などへ行く場合 53.5%、通勤・通学・仕事で外出の場合 30.9%、その他・無回答 12.6%

②このルートはどうか

(※以下、複数回乗車の回答者による重複を避けるため、乗車回数 1 回目の回収数 835 票に対する割合を示す。)

これで良い 73.3%、ルートが長すぎる 7.7%、ルートが短すぎる 7.1%、無回答・無効 12%。

③普段の交通手段

徒歩 86.1%、自転車 29.2%、バイク 2.8%、自動車 9.6%、家族の送迎 10.5%、タクシー 11%、路線バス 7.1%、送迎バス 1.6%、その他 2.2%、無回答 4.8%。

(H29 アンケート結果)

買い物・娯楽・社交で外出する場合の交通手段は、徒歩 58.4%、電車 41.4%、自動車 40.0%、自転車 34.5%、家族の送迎 10.6%、バイク 6.2%、バス 5.6%、タクシー 3.4%。

(3) 千里山駅西側地域への乗合交通の導入について

①この地域の公共交通としてどのようなものがあれば使うか

バス 80%、デマンド交通 4.4%、公共交通は使わない 1.4%、無回答・無効 14.7%

②今後200円で運行する場合利用するか

是非利用してみたい 33.9%、運行条件によっては利用してみたい 47.4%、利用しない 9.3%、無回答・無効 9.3%。利用してみたい（「1.是非利用してみたい」「2.運行条件によっては利用してみたい」）の合計は 81.3%。

(H29 アンケート結果)

是非利用してみたい 28.9%、運行条件によっては利用してみたい 42.6%、運行されてみないとわからない 13.5%、利用しない 14.1%、無回答・無効 0.8%。利用してみたい（「1.是非利用してみたい」「2.運行条件によっては利用してみたい」）の合計は 71.5%。

③利用する場合の頻度

(※以下、質問②のうち、「是非利用してみたい」「運行条件によっては利用してみたい」と回答のあった回収数 679 票に対する割合を示す。)

ほぼ毎日 4.9%、週 5～6 日 4.0%、週 3～4 日 16.5%、週 1～2 日 32.4%、月 4～5 日 8.5%、月 2～3 日 18.3%、月 1 日程度 7.8%、それより少ない 3.8%、無回答・無効 3.8%。

④どのように利用するか。

往復 80.1%、往路だけ 10%、復路だけ 5%、無回答・無効 4.9%

⑤このようなバスの運行で外出がどのように変わるか

外出の回数が増える 41.9%、外出の行き先が増える 37.8%、外出時の歩行に伴う不安や困難が減る 25.7%、変わらない 14.1%、無回答・無効 6.5%

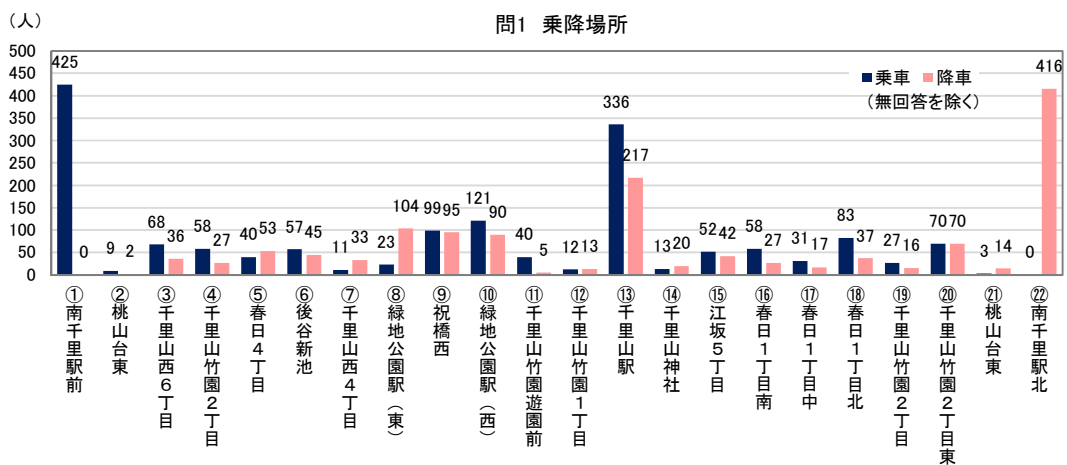
2.1.3 集計結果

(1) 実証実験バスの利用状況の把握

① 乗降場所

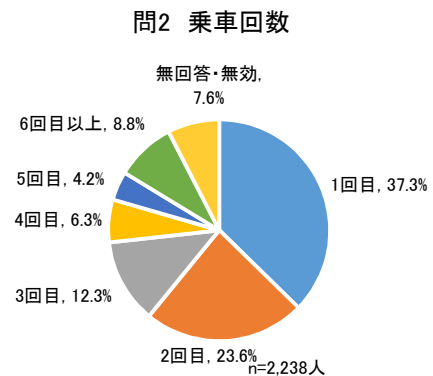
乗降者数が多い場所は南千里駅（駅前・駅北の計）であり、乗降者数全体の約28%が利用していた。ついで多い場所は千里山駅で約18%、緑地公園駅で約11%であった。

また、駅以外では、イオン南千里店の最寄り（千里山西6丁目・千里山竹園2丁目東の計）が約8%であった。



② 乗車回数

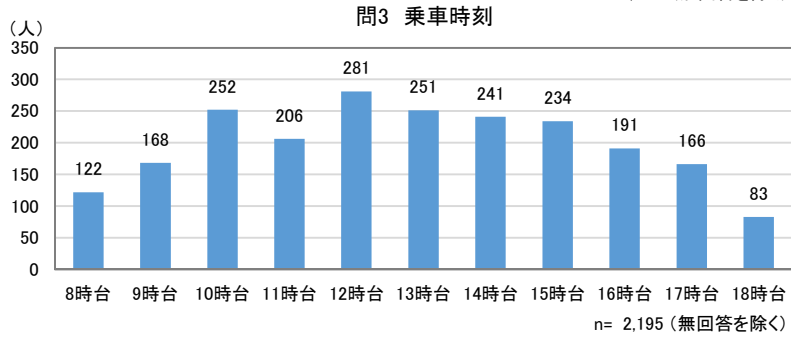
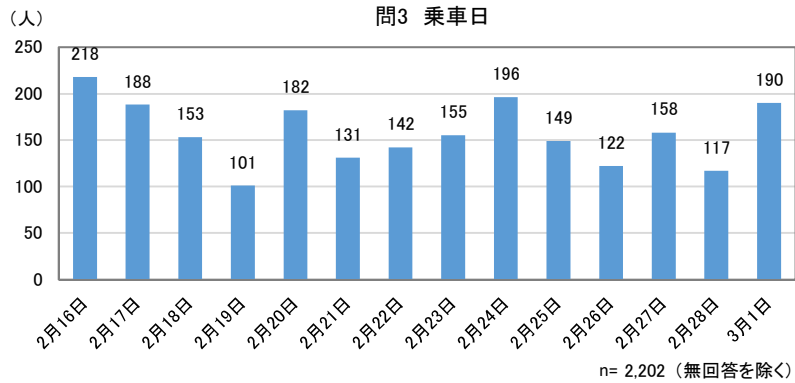
約半数（約55%）が2回目以降のリピーターであった。



③ 乗車日・乗車時刻

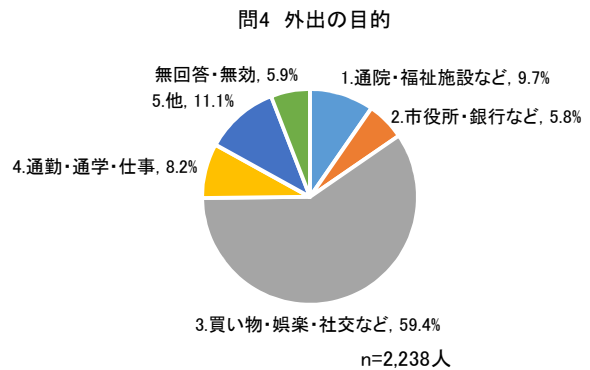
乗車日は、土・日曜日に多い傾向があった。

乗車時刻は、午前10時台と正午にピークが見られた。



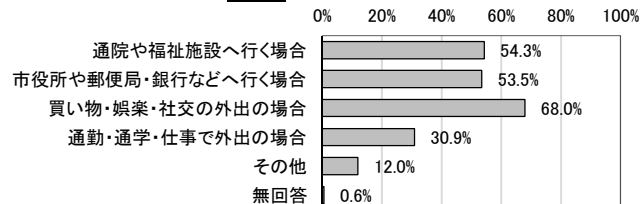
④ 外出の目的

外出の目的は、「買い物・娯楽・社交など」の余暇目的が約59%で最も多かった。ついで通院目的が約10%見られた。



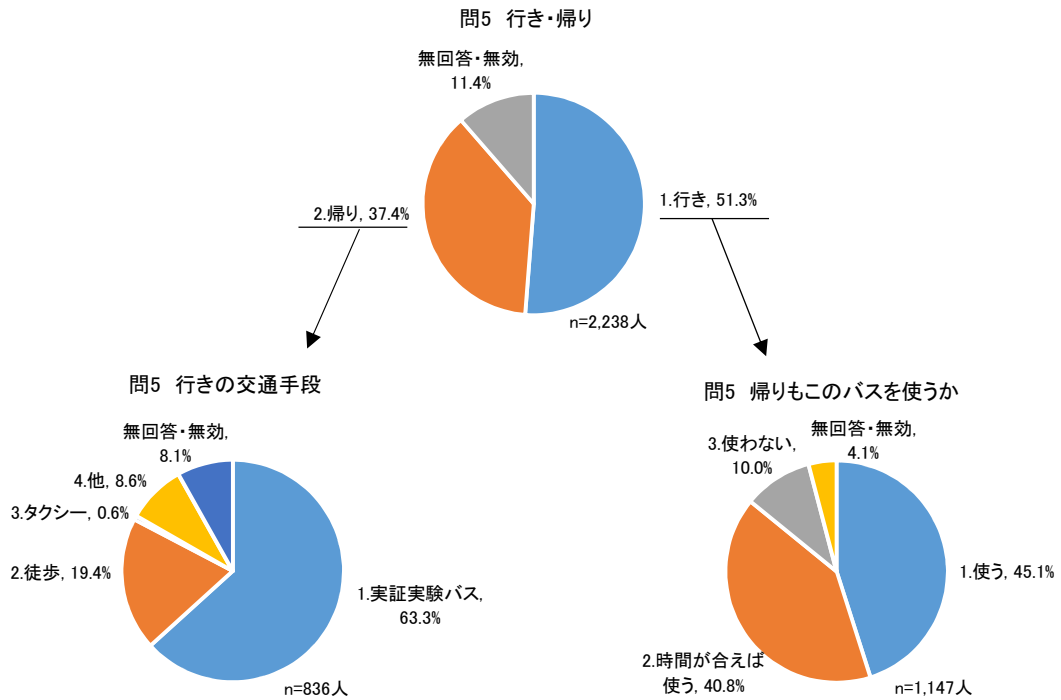
参考：H29 年度

問11(2) どのような外出の際に利用しようと思いませんか



⑤ 行き・帰りのどちらか

行き・帰りともに、実証実験バスの利用意向が高く、往復利用の傾向が見られた。

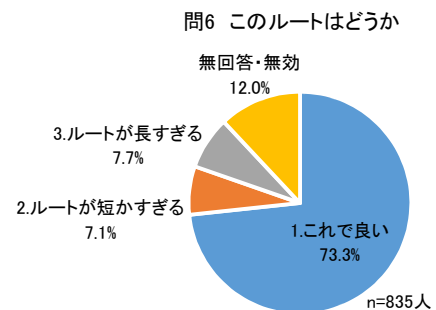


(2) 実証実験バスの評価の把握

※以降の設問は、複数回乗車の回答者による重複を避けるため、乗車回数「1回目」のみを対象として集計した。

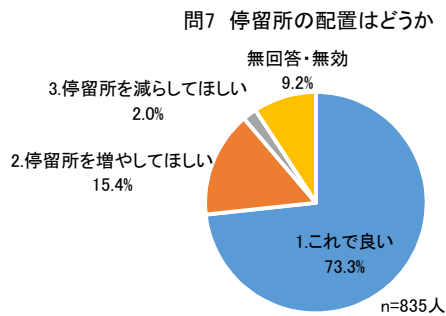
① このルートの評価

ルートについて、約73%が「これで良い」との評価であった。



② 停留所の配置の評価

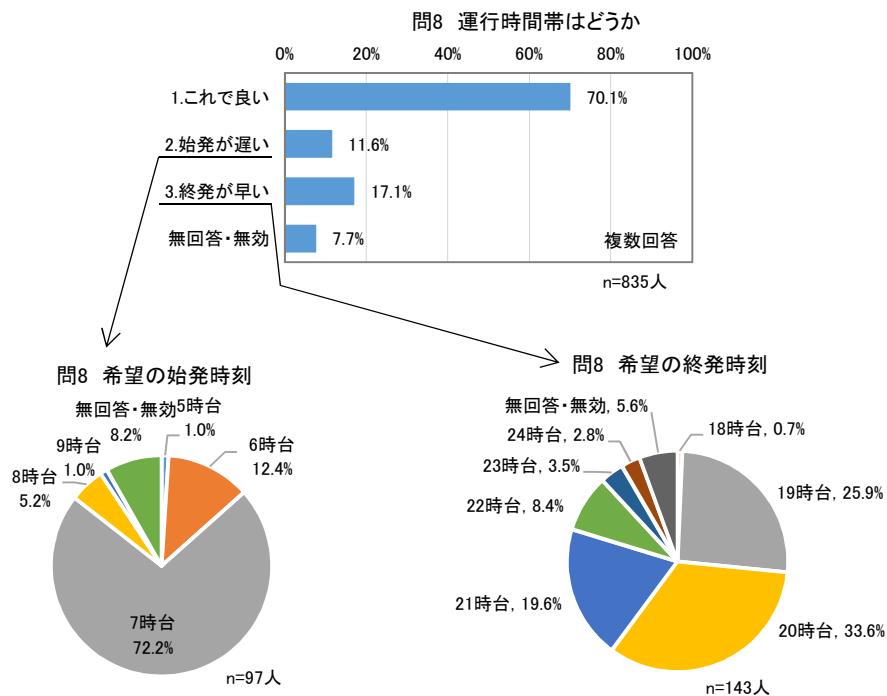
停留所について、約73%が「これで良い」との評価であった。一方、停留所を増やしてほしいとの要望としては、緑地公園駅周辺（豊中市域含む）や「レッチワースロード」の区間が多かった。また、今回の実証実験のルートからは外れるものの、第二噴水近傍等の要望も多かった。



停留所の要望		件数
停留所の要望	緑地公園駅周辺（豊中市域含む）	14
	レッチワースロード・第一噴水周辺	13
	第二噴水近傍	10
	イオン近傍	8
	南千里駅	8
	春日周辺	8
	第一中学校近傍	5
	祝橋近傍	3
	名神高速南側	2
対象範囲外	江坂駅	22
	桃山台駅	19
	関大前駅	2
	北千里駅	2
	千里中央駅	2
	千里山駅東側	6

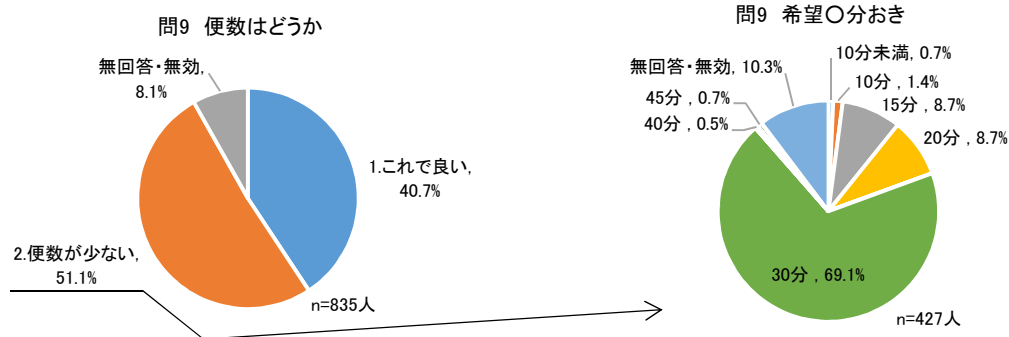
③ 運行時間帯の評価

運行時間帯について、約70%が「これで良い」との評価であった。始発と終発の要望としては、始発7時台、終発20時台が多かった。



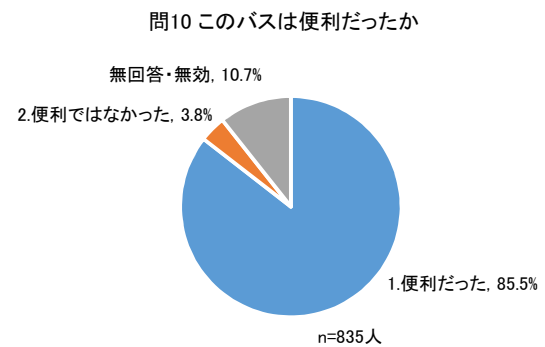
④ 便数の評価

便数について、「少ない」という評価が約51%であった。希望の便数としては、30分おきが最も多かった。



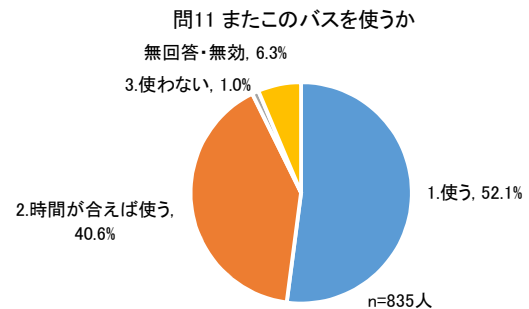
⑤ このバスは便利だったか

総合評価として、「このバスは便利だった」という評価が約86%であった。



⑥ またこのバスを使うか

またこのバスを「使う」または「時間が合えば使う」という前向きな評価が約93%であった。



(3) バスサービス(有償)が開始した場合の利用意向の把握

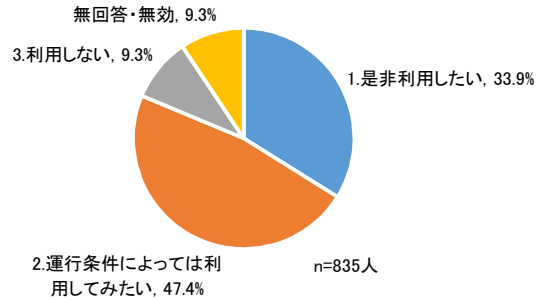
① 今後 200 円で運行する場合利用するか

このバスが将来的に200円で運行するとした場合の利用意向は、「是非利用したい」または「運行条件によっては利用してみたい」の計で約81%であった。

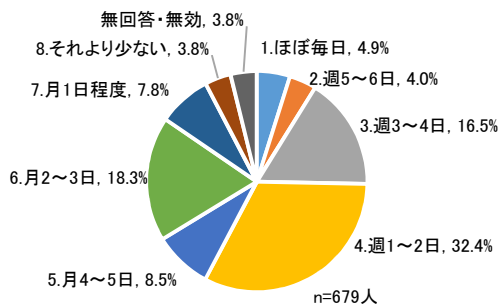
また、「是非利用したい」または「運行条件によっては利用してみたい」と回答した人において、利用する場合の頻度としては、週1~2日程度が約32%で最も多く、ほぼ毎日~週3日程度の頻度で利用するとした回答は約25%であった。

行き・帰りの利用の仕方としては、往復での利用が最も多く約80%であった。

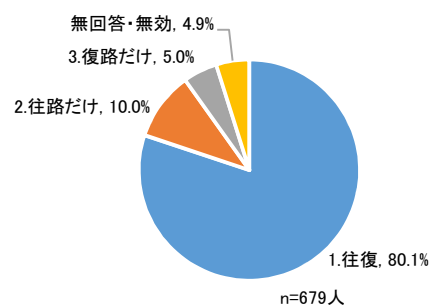
問12 200円で運行する場合利用するか



問13 利用する場合の頻度

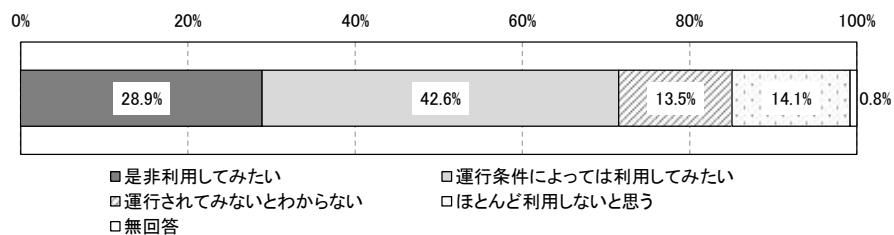


問14 どのように利用するか



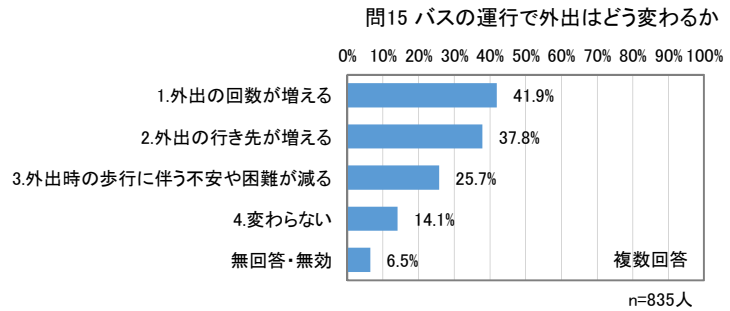
参考：H29年度

問11(1) バス等の公共交通が導入された場合、利用しようと思いますか



② このようなバスの運行で外出がどのように変わるか

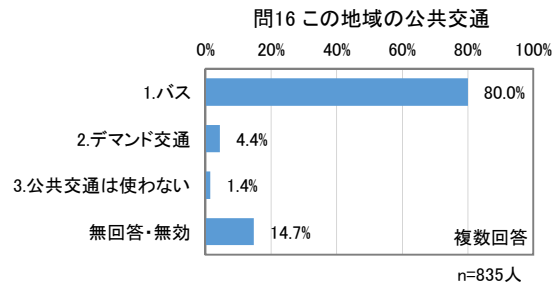
このようなバスの運行に伴う外出行動の変化としては、「外出の回数が増える」が約42%で最も多く、ついで「外出の行き先が増える」が約38%であった。



(4) バス以外の公共交通の意向

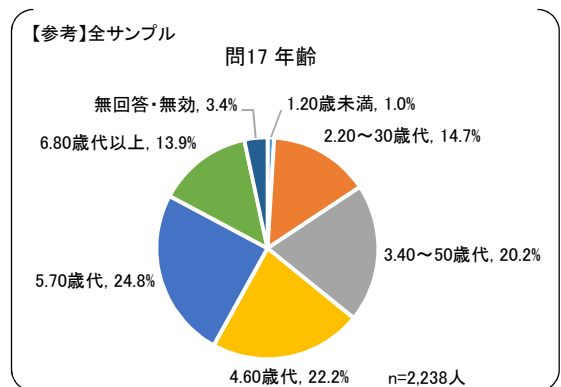
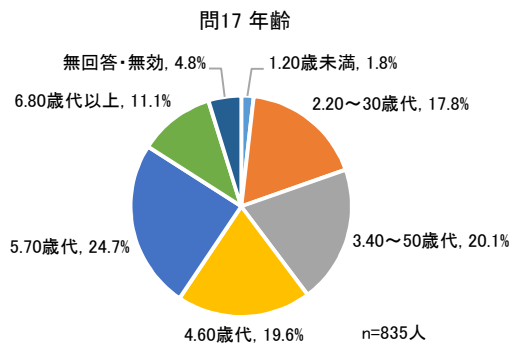
① この地域の公共交通としてどのようなものがあれば使うか

この地域の望ましい公共交通としては、「バス」が最も多かった。

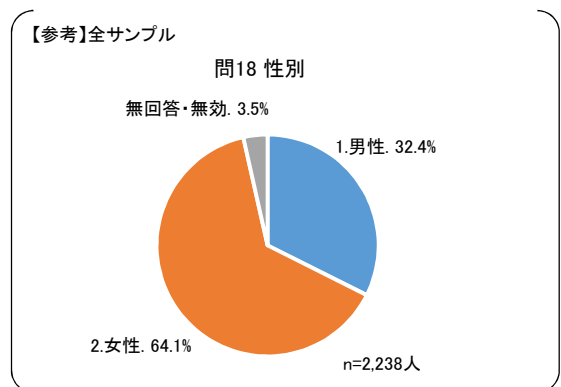
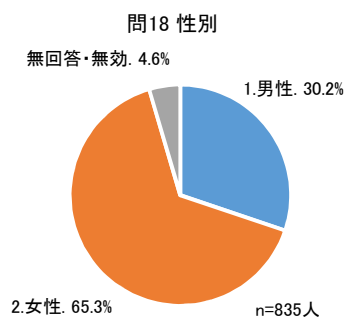


(5) 属性及び身体状態

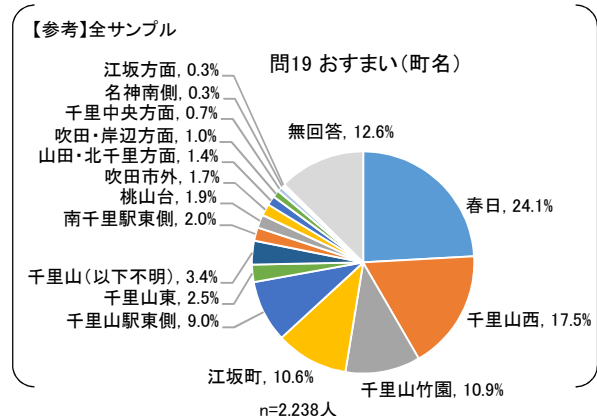
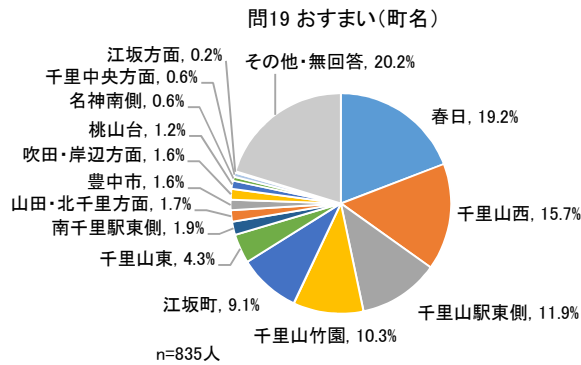
① 年齢



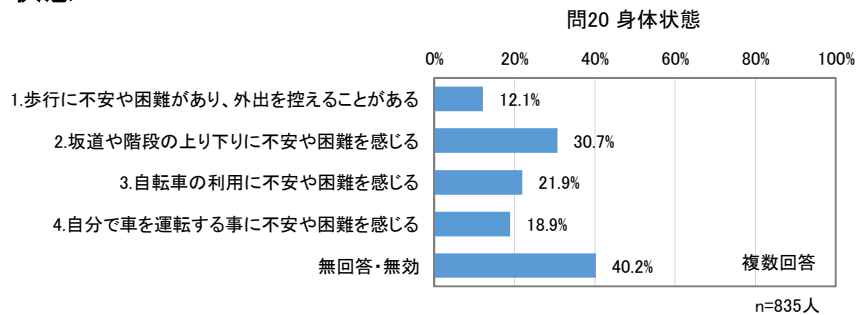
② 性別



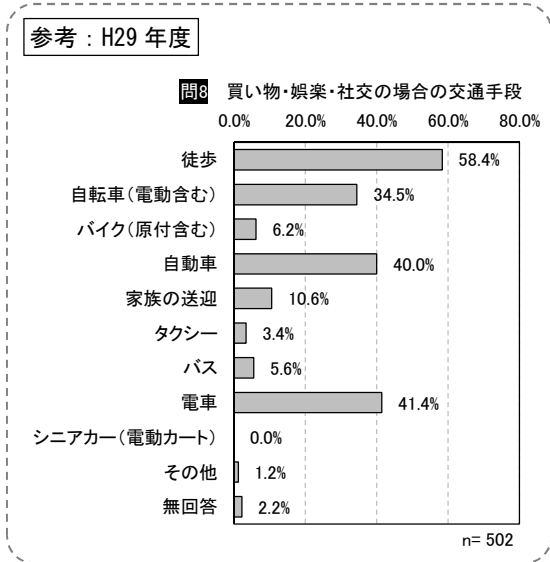
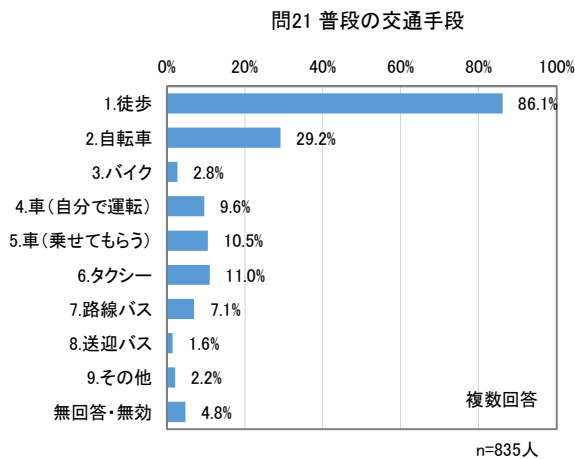
③ おすまい



④ 身体状態



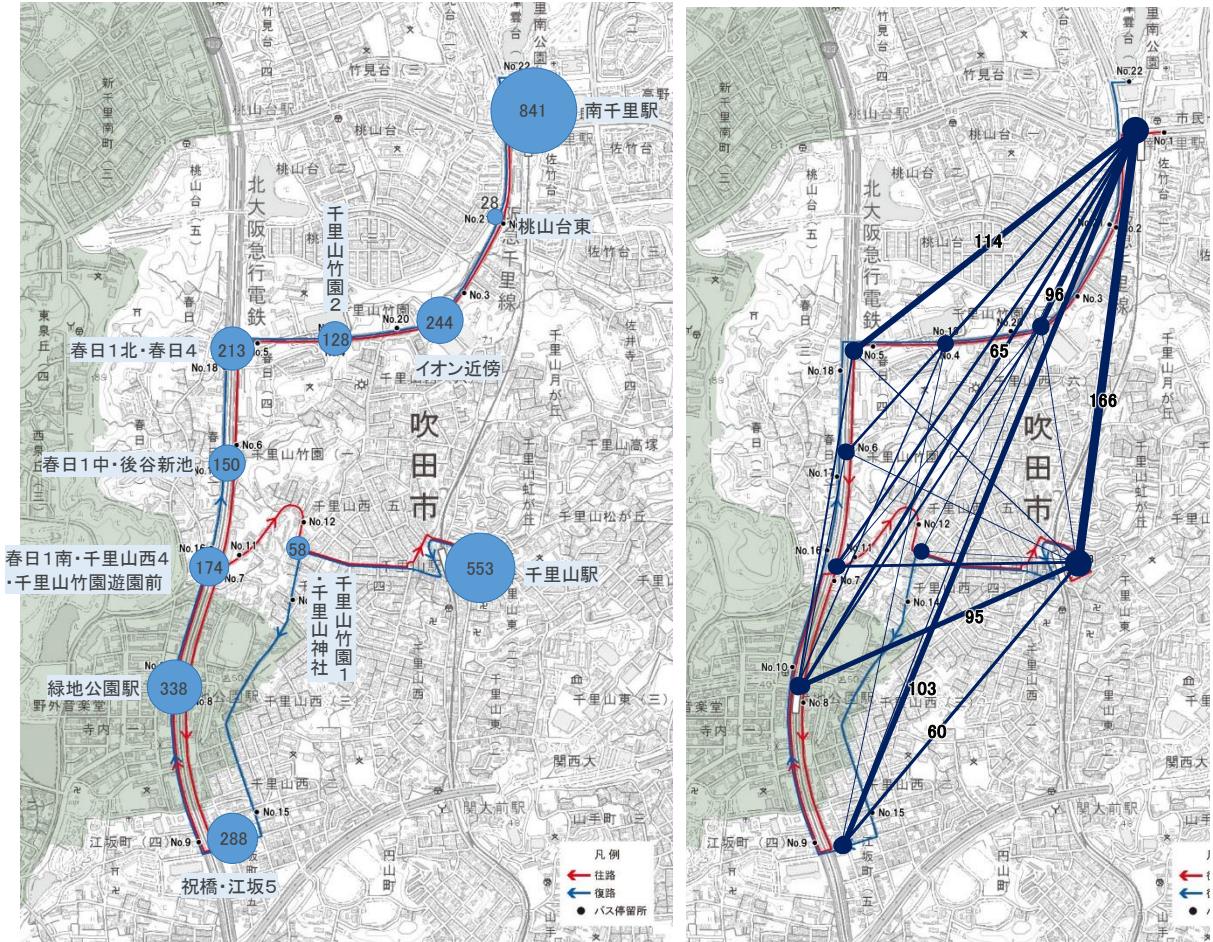
⑤ 普段の交通手段



2.1.4 乗降場所の整理

乗客アンケートによる乗降場所の整理結果を以下に示す。

南千里駅を発着する移動では、春日周辺、祝橋周辺、イオン近傍との行き来が多かった。千里山駅を発着する移動では、緑地公園駅、祝橋周辺との行き来が多かった。



降車エリア

	南千里駅	桃山台東	イオン近傍	千里山竹園2	春日1北・春日4	春日1中・後谷新池	春日1南・千里山西4・千里山竹園遊園前	緑地公園駅	祝橋・江坂5	千里山竹園1・千里山神社	千里山駅
南千里駅	18	2	35	27	54	35	17	32	50	12	73
桃山台東	3								3	1	3
イオン近傍	61	1	4	1	3	10	22	10	2	4	
千里山竹園2	27		1		2	3	21	13	1	8	
春日1北・春日4	60		2		3	2	20	1		12	
春日1中・後谷新池	17	2	4		4		20	3		12	
春日1南・千里山西4・千里山竹園遊園前	39	2	7		2	3	1	3			30
緑地公園駅	33	3	19	10	13	5	4	1	5	3	34
祝橋・江坂5	53	3	15	5	4	2	2	12	8	3	23
千里山竹園1・千里山神社	7	1			2	1		3	1	2	
千里山駅	93	2	17		12	9	23	61	37	9	111

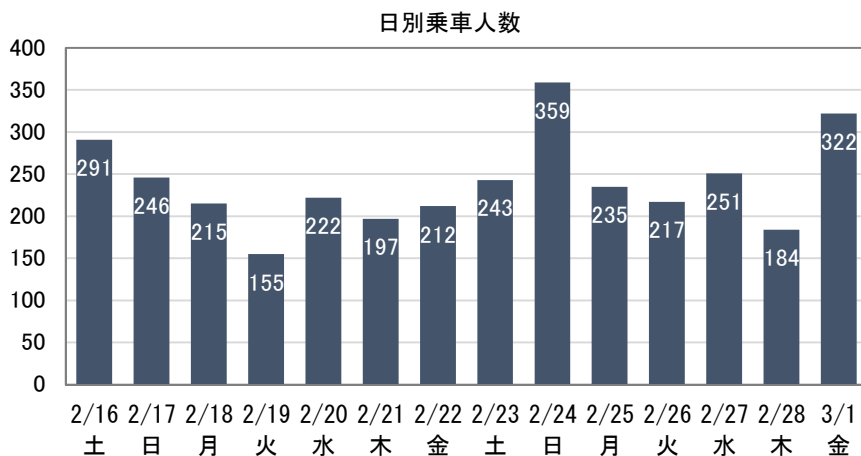
乗車エリア

2.1.5 (参考) 実証実験バスの乗降車数

(1) 日ごとの乗車人数

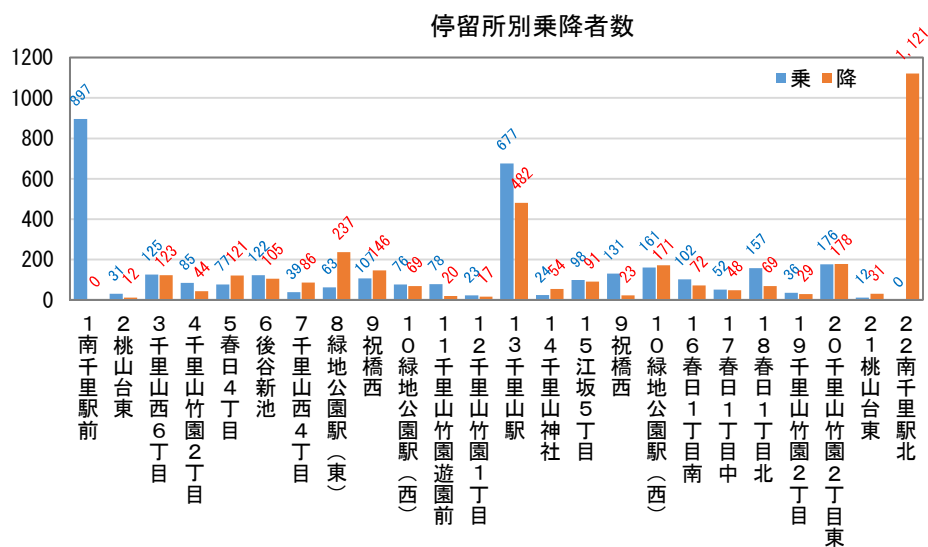
14日間の乗車人数は、計3,349人、最多日は2月24日(日)の359人、最少日は2月19日(火)の155人であった。

1日あたりの平均乗車人数は239.2人/日、1便あたりの平均乗車人数は21.7人/便であった。



(2) 停留所別乗降者数

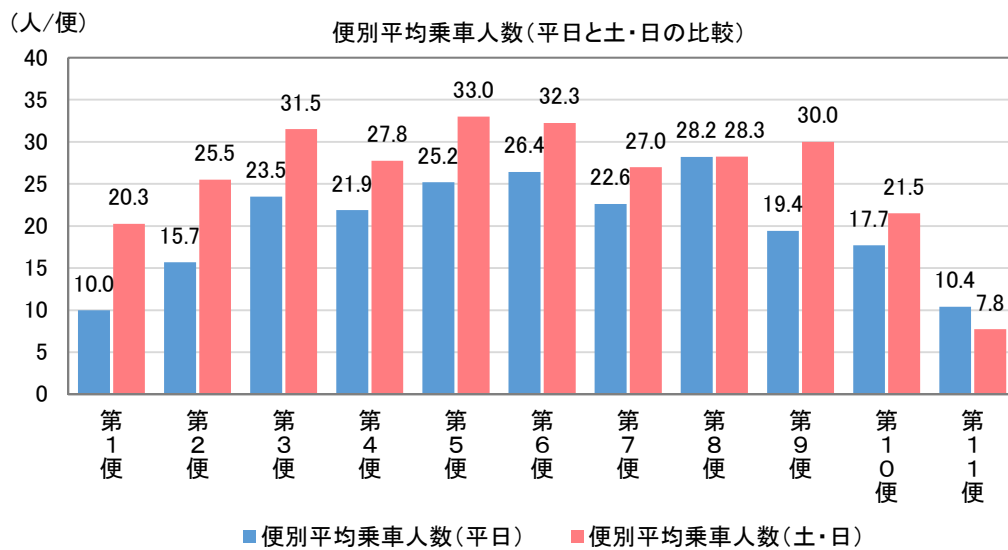
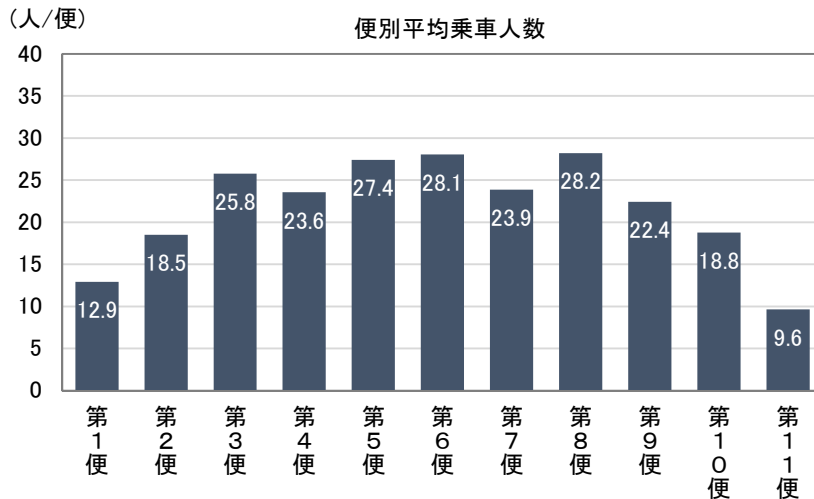
停留所別で見ると、最も多いのが南千里駅、ついで千里山駅、緑地公園駅であり、駅以外の停留所では「20 千里山竹園 2 丁目東」、「9 祝橋西」、「3 千里山西 6 丁目」の利用が多かった。



(3) 便別乗車人数

乗車人数を便別に見ると、第5～第8便（12時台～15時台）の利用が多かった。

また、平日と土・日の別で見ると、第11便を除く全便において土・日の方が乗車人数が多かった。



2.2 千里山駅西側地域 市民アンケート調査

2.2.1 千里山駅西側地域市民アンケート調査について

(1) 目的

千里山地区等における交通対策検討のため

(2) 実施期間、配布数、回収数、対象者

- ①実施期間：平成31年2月16日（土）から
平成31年3月1日（金）までの14日間
- ②配布数：1,000票
- ③回収数：464票（回収率 46.4%）
- ④対象者：千里第三小学校区及び千里新田小学校区（桃山台小学校区の一部を含む）
に居住する15歳以上の市民の中から無作為抽出

注) 構成比の数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、個々の集計値の合計が100%とはならない場合があります。また複数回答可の場合、構成比の合計は100%にはなりません。

2.2.2 集計結果の概要

(※以下、回収数464票に対する割合を示す。)

(1) 属性

①性別の内訳

男性 38.1%、女性 60.8%

②年齢の内訳

20歳未満 5.0%、20～30歳代 20.7%、40～50歳代 34.7%、60歳代 15.9%、70歳代 16.6%、
80歳代以上 6.0%

③職業の内訳

常勤で就労 29.1%、家事専業 21.1%、無職 18.1%、パート・非常勤 13.8%、学生 8.0%、
自営・自由業 7.5%

④居住地の内訳

千里山西 37.7%、春日 24.6%、千里山竹園 11.0%、江坂町 6.7%、円山町 0.4%、無回答
19.6%

(2) 実証実験バスについて

①実証実験バスの認知度

知っていた 37.9%、知らなかった 60.3%、関心がない 1.3%

②実証実験バスの利用状況

利用した 4.1%、利用する具体的な予定がある 0.9%、利用しようと思う 41.6%、利用しない 51.9%

③このルートはどうか

これで良い 72.7%、ルートが短かすぎる 14.8%、ルートが長すぎる 8.3%

④普段の交通手段

徒歩 88.8%、自転車 37.7%、車（自分で運転） 33.2%、車（乗せてもらう） 19.4%、タクシー 9.9%、バイク 2.4%、路線バス 1.7%、送迎バス 0.2%、その他 2.8%、無回答 1.1%

(3) 千里山駅西側地域への乗合交通の導入について

①この地域の公共交通としてどのようなものがあれば使うか

バス 62.3%、公共交通は使わない 15.5%、デマンド交通 9.9%

②今後200円で運行する場合利用するか

是非利用したい 14.4%、運行条件によっては利用してみたい 52.6%、利用しない 31.3%

③利用する場合の頻度

(※以下、質問②のうち、「是非利用してみたい」「運行条件によっては利用してみたい」と回答のあった回収数 311 票に対する割合を示す。)

ほぼ毎日 2.9%、週 5~6 日 3.5%、週 3~4 日 10.9%、週 1~2 日 27.3%、月 4~5 日 8.4%、月 2~3 日 18.3%、月 1 日程度 13.5%、それより少ない 11.6%

④どのように利用するか。

往復 84.2%、往路だけ 9.0%、復路だけ 4.2%

⑤このようなバスの運行で外出がどのように変わるか

外出の行き先が増える 42.1%、外出時の歩行に伴う不安や困難が減る 31.2%、変わらない 27.3%、外出の回数が増える 27.0%

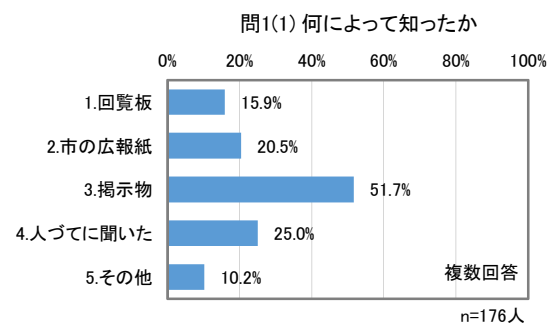
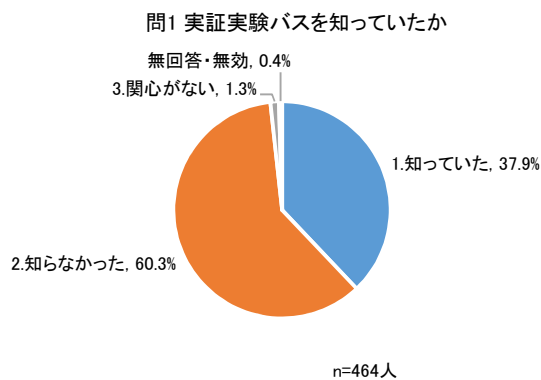
2.2.3 集計結果

(1) 実証実験バスに関する意向

① 実証実験バスの認知度・認知媒体

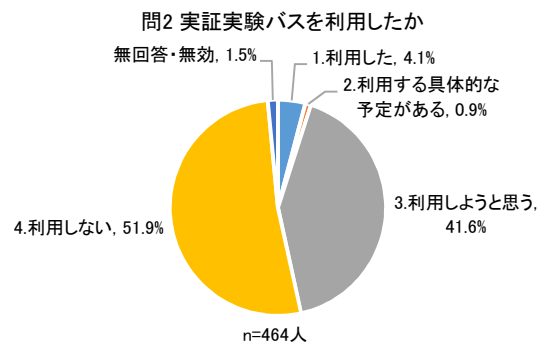
約38%が実証実験バスを「知っていた」と回答した。

認知媒体は「掲示物」が約52%と最も多く、ついで「人づてに聞いた」、「市の広報紙」であった。



② 実証実験バスを利用したか

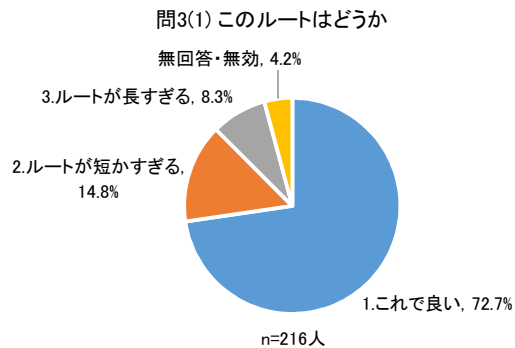
実証実験バスを利用した人は約4%、利用する意向のある人は約47%であった。



(以下、質問②において「1.利用した」、「2.利用する具体的な予定がある」、「3.利用しようと思う」と回答した 216 票について集計。)

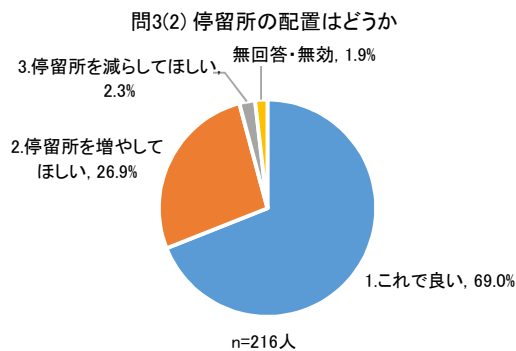
③ このルートの評価

ルートについて、約73%が「これで良い」との評価であった。



④ 停留所の配置の評価

停留所について、約69%が「これで良い」との評価であった。一方、停留所を増やしてほしいとの要望としては、春日周辺、第二噴水近傍、第一中学校近傍等の要望が多かった。

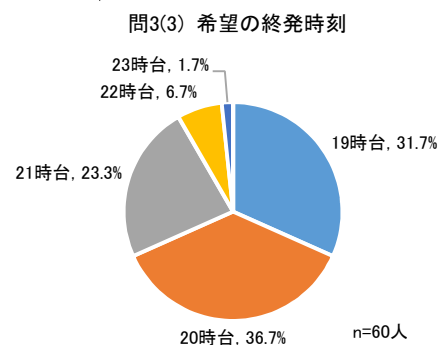
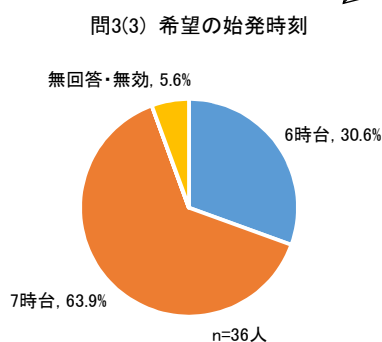
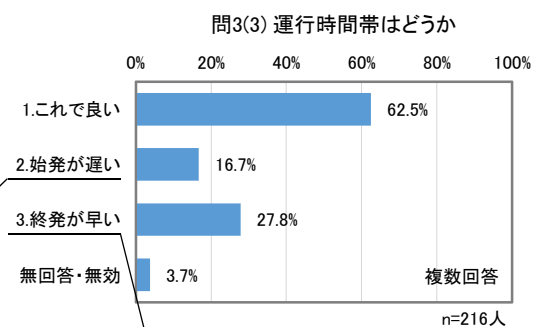


停留所の要望	春日周辺	9
	第二噴水近傍	7
	第一中学校近傍	5
	緑地公園駅周辺 (豊中市域含む)	5
	イオン近傍	2
	祝橋近傍	2
	名神高速南側	2
	レッチワースロード	1
対象範囲外	桃山台駅	8
	江坂駅	4
	関大前駅	4
	北千里・山田方面	3

⑤ 運行時間帯の評価

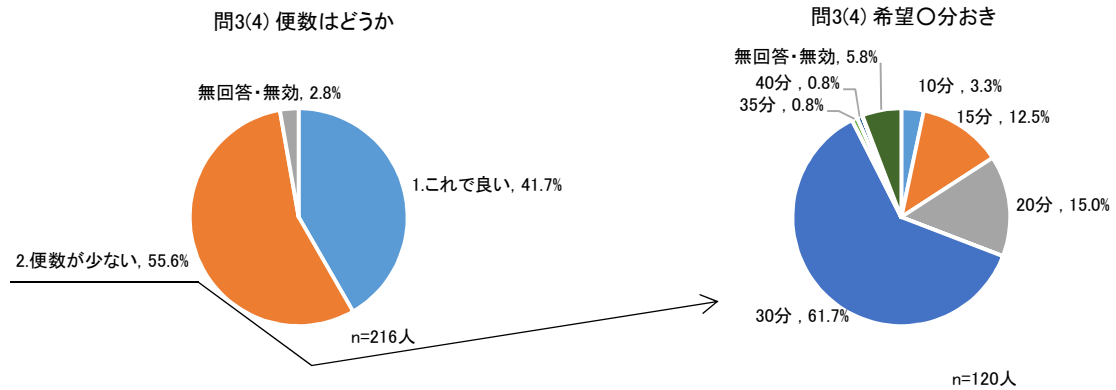
運行時間帯について、約63%が「これで良い」との評価であった。

始発と終発の要望としては、始発7時台、終発20時台が多かった。



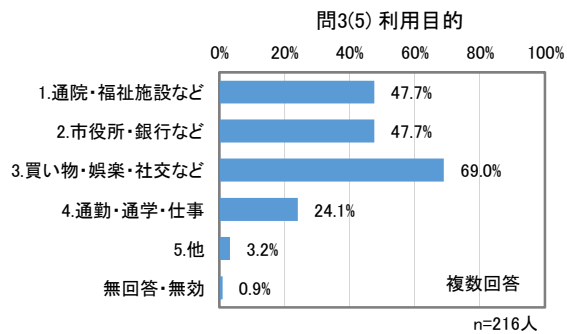
⑥ 便数の評価

便数について、「少ない」という評価が約56%であった。希望の便数としては、30分おきが最も多かった。



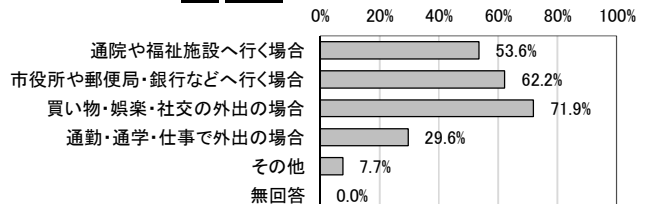
⑦ 利用目的

利用目的としては、「買い物・娯楽・社交など」の余暇目的が約69%で最も多かった。また通院や手続きの目的がそれぞれ約48%見られた。



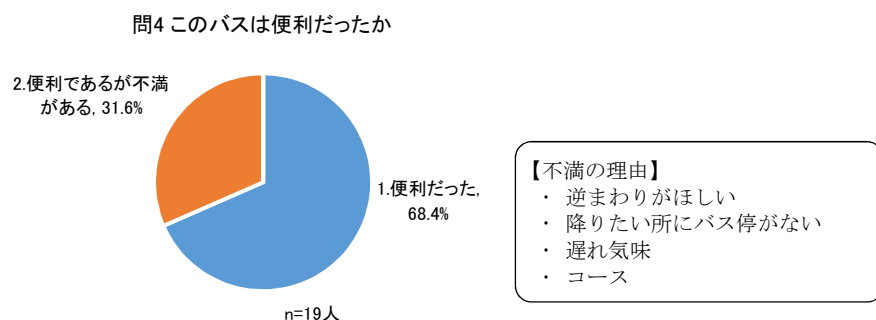
参考：H29 年度

西側 問11(2) どのような外出の際に利用しようと思いますか



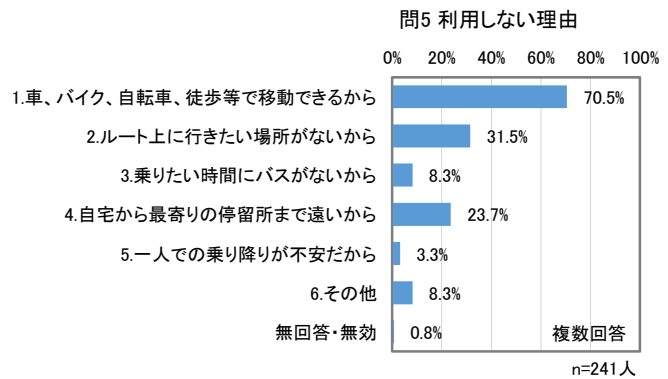
⑧ このバスは便利だったか

実証実験バスを利用した人の評価として、「このバスは便利だった」という評価が約68%であった。



⑨ 利用しない理由

実証実験バスを利用しない理由として「車、バイク、自転車、徒歩等で移動できるから」が約71%と最も多く、ついで「ルート上に行きたい場所がないから」、「自宅から最寄りの停留所まで遠いから」が多かった。



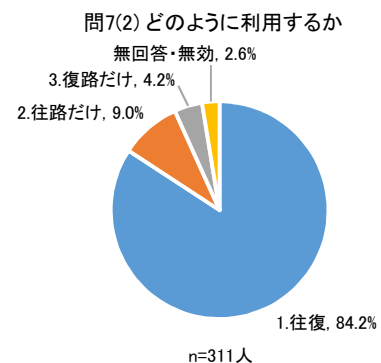
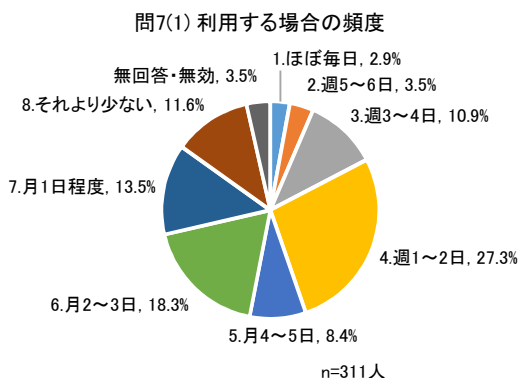
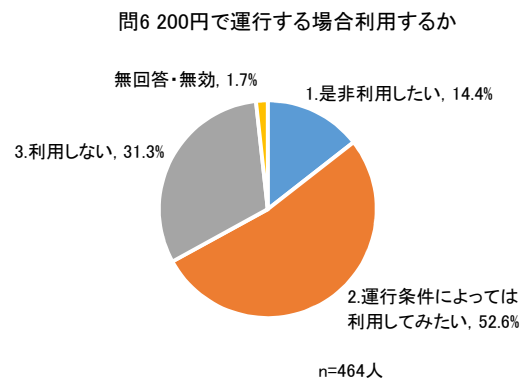
(2) バスサービス(有償)が開始した場合の利用意向の把握

① 今後200円で運行する場合利用するか

このバスが将来的に200円で運行するとした場合の利用意向は、「是非利用したい」または「運行条件によっては利用してみたい」の計で約67%であった。

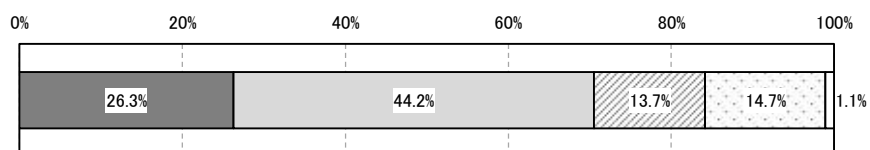
また、「是非利用したい」または「運行条件によっては利用してみたい」と回答した人(n=311人)において、利用する場合の頻度としては、週1~2日程度が約27%で最も多く、ほぼ毎日~週3日程度の頻度で利用するとした回答は約17%であった。

行き・帰りの利用の仕方としては、往復での利用が最も多く約84%であった。



参考：H29年度

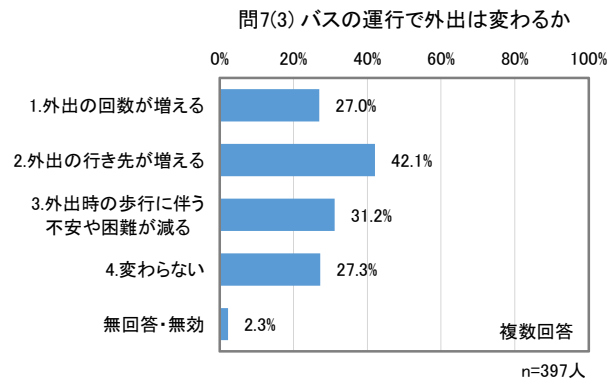
西側 問11(1) バス等の公共交通が導入された場合、利用しようと思えますか



是非利用してみたい
 運行条件によっては利用してみたい
 ほとんど利用しないと思う
 ほとんど利用しないと思う
 無回答

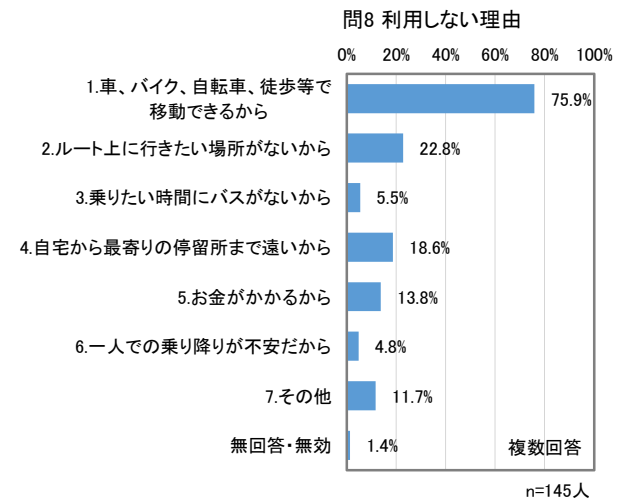
② このようなバスの運行で外出がどのように変わるか

このようなバスの運行に伴う外出行動の変化としては、「外出の行き先が増える」が約42%で最も多く、ついで「外出時の歩行に伴う不安や困難が減る」が約31%であった。



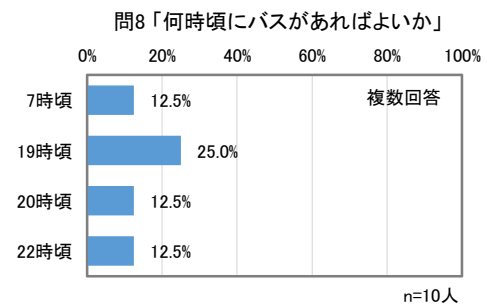
③ 利用しない理由

このようなバスを利用しない理由としては、「車、バイク、自転車、徒歩等で移動できるから」が約76%と最も多く、ついで「ルート上に行きたい場所がないから」、「自宅から最寄りの停留所まで遠いから」が多かった。



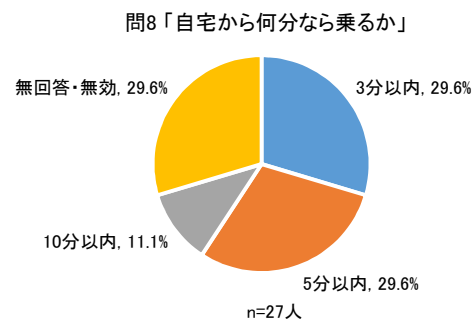
④ 何時ごろにバスがあればよいか

「乗りたい時間にバスがない」という回答者では、乗りたい時間として19時頃が最も多かった。



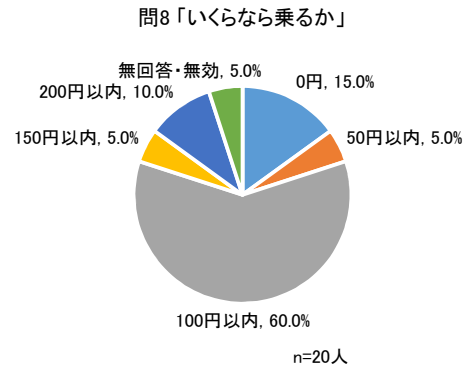
⑤ 自宅から何分なら乗るか

「自宅から最寄りの停留所まで遠い」という回答者では、自宅からバス停までの距離として3分以内または5分以内を希望する回答が最も多かった。



⑥ いくらなら乗るか

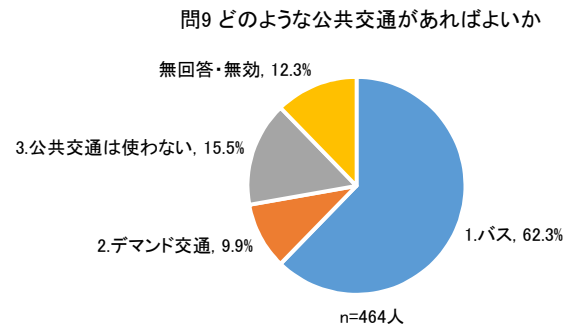
「お金がかかる」という回答者では、バスの運賃として100円以内を希望する回答が最も多かった。



(3) バス以外の公共交通の意向を把握する

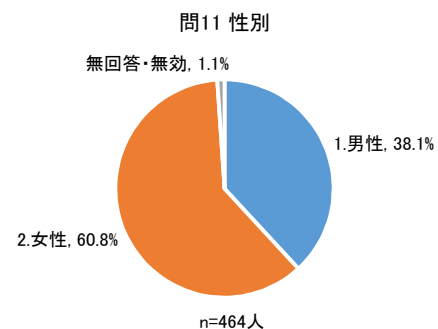
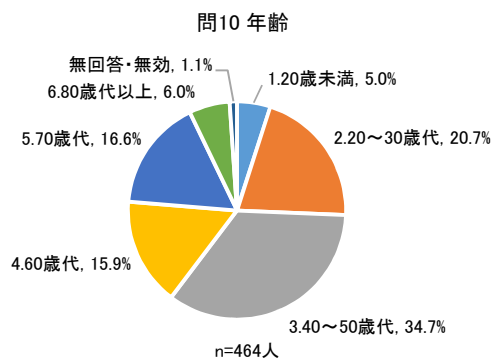
① この地域の公共交通としてどのようなものがあれば使うか

この地域の望ましい公共交通としては、「バス」が最も多かった。

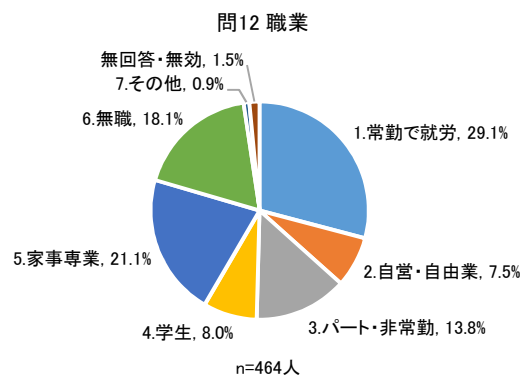


(4) 属性及び身体状態

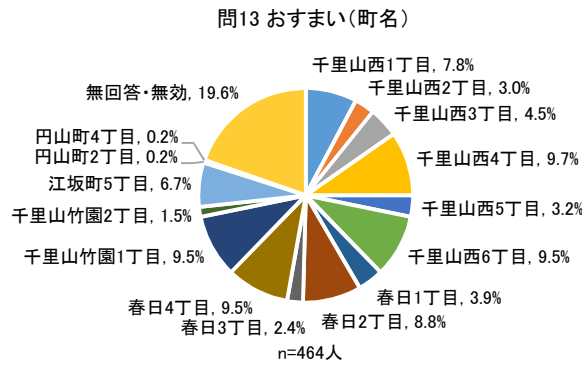
① 年齢・性別



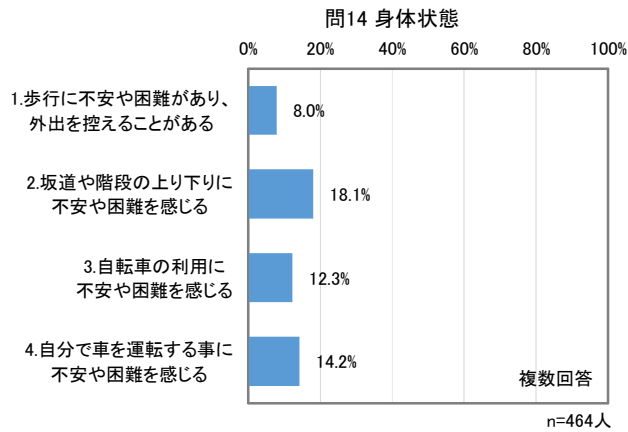
② 職業



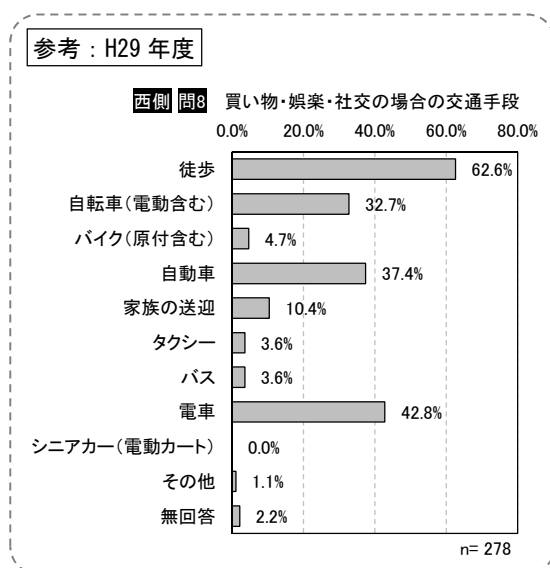
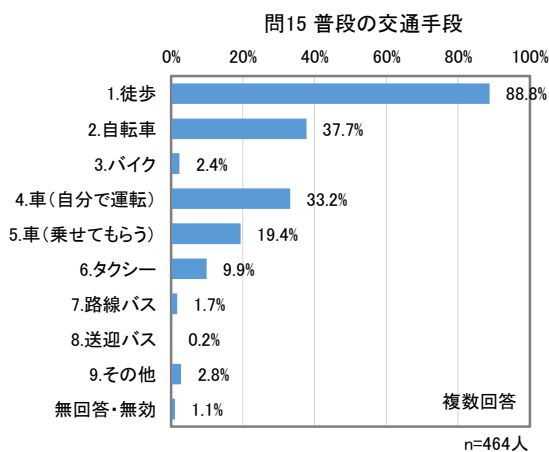
③ おすまい（町名）



④ 身体状態



⑤ 普段の交通手段



2.3 千里山駅東側地域 市民アンケート調査

2.3.1 千里山駅東側地域市民アンケート調査について

(1) 目的

千里山駅東側地域における交通対策の検証のため

(2) 実施期間、配布数、回収数、対象者

- ①実施期間：平成31年2月16日（土）から
平成31年3月1日（金）までの14日間
- ②配布数：1,000票
- ③回収数：510票（回収率 51.0%）
- ④対象者：千里第二小学校区・佐井寺小学校区の一部（佐竹台小学校区の一部を含む）に居住する15歳以上の市民の中から無作為抽出

注）構成比の数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、個々の集計値の合計が100%とはならない場合があります。また複数回答可の場合、構成比の合計は100%にはなりません。

2.3.2 集計結果の概要

（※以下、回収数510票に対する割合を示す。）

(1) 属性

①性別の内訳

1. 男性 34.5%、2. 女性 62.9%

②年齢の内訳

20歳未満 2.9%、20～30歳代 17.6%、40～50歳代 37.1%、60歳代 18.0%、70歳代 15.3%、80歳代以上 6.1%

③職業の内訳

常勤で就労 29.6%、パート・非常勤 18.8%、無職 18.6%、家事専業 17.6%、学生 6.1%
自営・自由業 4.7%

④居住地の内訳

千里山 26.7%、佐井寺 21.2%、千里山高塚 13.9%、千里山松が丘 10.4%、千里山月が丘 8.6%、千里山星が丘 5.7%、千里山虹が丘 2.5%、千里山霧が丘 2.4%

(2) 千里山駅東側地域の新規路線バスについて

①新規路線バスの認知度

知っていた 87.8%、知らなかった 12.2%

②新規路線バスの利用状況

利用した 29.4%、利用する予定がある 7.1%、利用しようと思う 28.2%、利用しない 35.3%

③新規路線バスの評価

(※「質問②のうち、「利用した」と回答のあった回収数 150 票に対する割合を示す。)

便利だった 46.0%、便利であるが不満がある 46.7%、便利ではなかった 3.3%

④新規路線バスによる外出の変化

(※「質問②のうち、「利用した」、「利用する予定がある」、「利用しようと思う」と回答のあった回収数 330 票に対する割合を示す。)

変わらない 43.0%、外出の行き先が増える 30.9%、外出時の歩行に伴う不安や困難が減る 22.1%、外出の回数が増える 15.8%

⑤利用しない理由

(※「質問②のうち、「利用しない」と回答のあった回収数 180 票に対する割合を示す。)

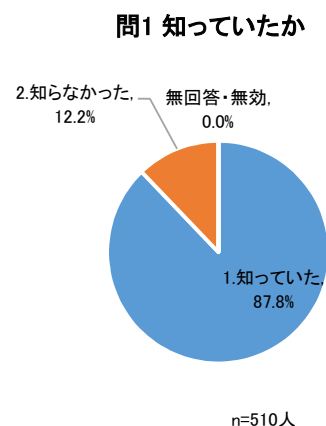
車、バイク、自転車、徒歩等で移動できるから 64.4%、自宅から最寄りの停留所まで遠いから 29.4%、ルート上に行きたい場所がないから 25.6%、乗りたい時間にバスがないから 10.6%、お金がかかるから 9.4%、一人での乗り降りが不安だから 1.1%

2.3.3 集計結果

(1) 新規バス路線に関する意向

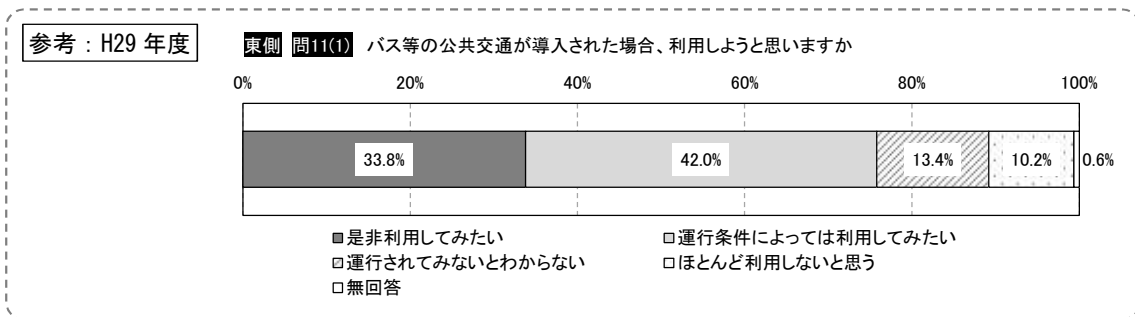
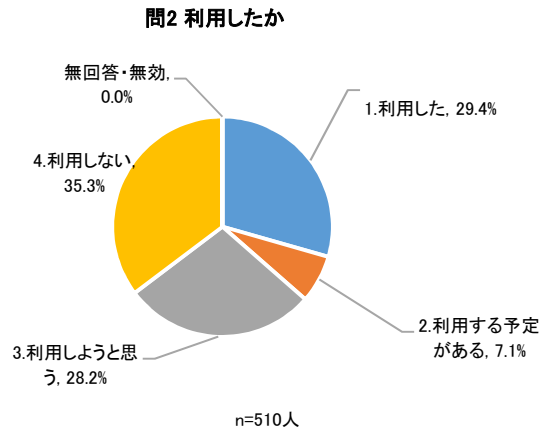
① 認知度

回答者の約 88%が新規バス路線を「知っていた」と回答した。



② 利用状況

新規バス路線を利用した人は約 29%、利用する意向がある人（利用する予定がある、利用しようと思う人の合計）は約 35%であった。

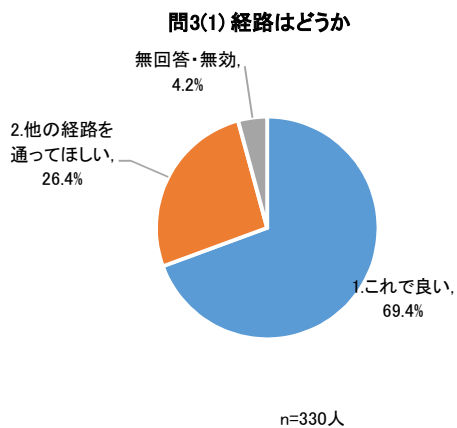


（以下、質問②において「1. 利用した」、「2. 利用する予定がある」、「3. 利用しようと思う」と回答した 330 票について集計。）

③ 経路の評価

経路については約 89%が「これで良い」と評価している。

他の経路を通過してほしいとの要望では（吹田市民病院を含む）岸部方面が最も多かった。

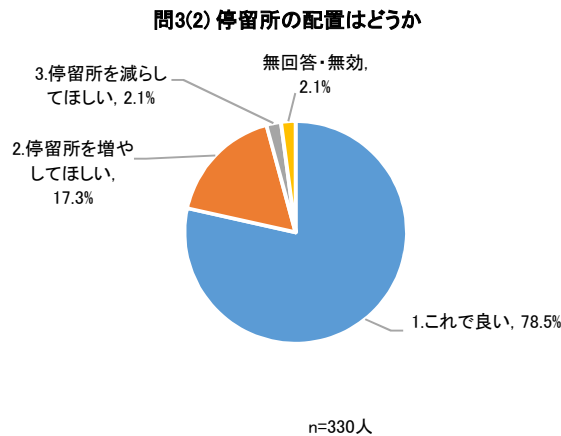


他の経路の要望	
岸部方面（吹田市民病院を含む）	38
佐井寺方面	11
江坂方面	8
緑地公園方面	8
南千里方面	5
千里中央方面	4
桃山台方面	4
千里第二小学校前を通る経路	2
関西大学方面	2
御堂筋線と結ぶ経路	2
五月が丘→南千里方面	1
松が丘公園周辺	1
南千里～千里山高塚～千里山	1
豊津方面	1
千里山虹が丘～千里山月が丘～佐井寺を通る経路	1
南正雀わんぱく広場	1
新大阪駅	1
千里山月が丘方面	1
千里山高塚方面	1
御堂筋線とモノレールを繋ぐ経路	1
竹谷・五月が丘方面	1

④ 停留所の配置の評価

停留所について、約 79%が「これで良い」と評価している。

停留所を増やしてほしいとの要望では、千里山東から上山手の間の要望が多かった。

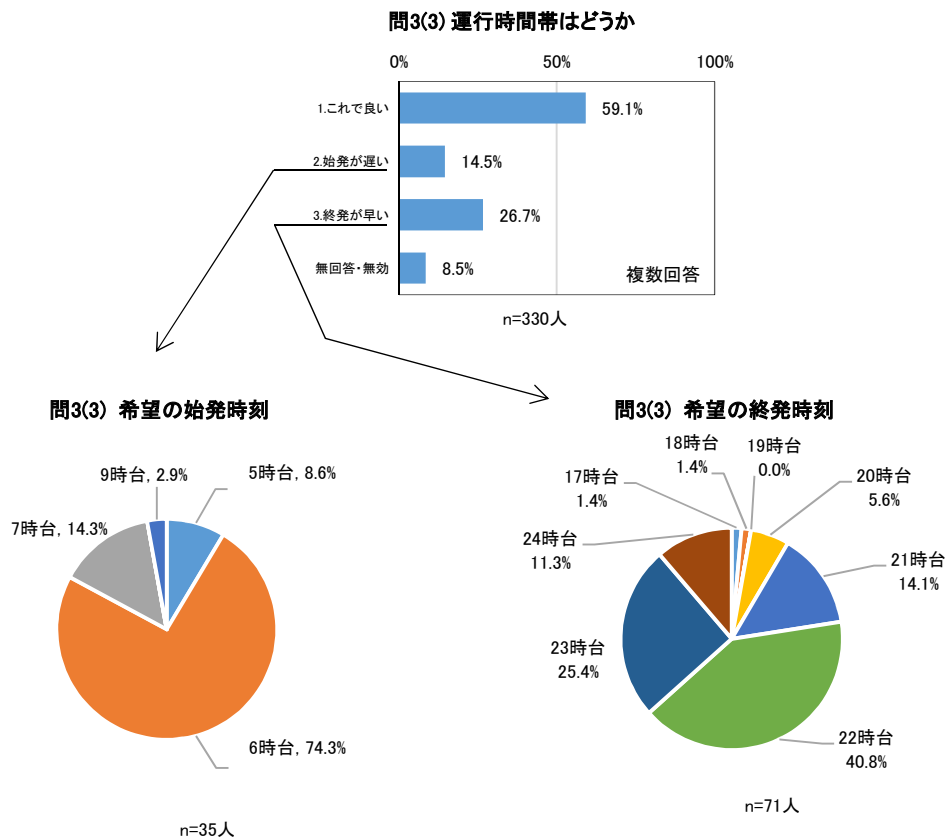


停留所の要望	千里山東（JR吹田行）	8
	千里山東と上山手の間	5
	吹田グリーンプレイス前	5
	千里山東と上山手の間（JR吹田行）	3
	千二小学校前と片山の間	1
	松が丘公園付近	3
	千里第二小学校前	2
	ちさと図書館前	1
	片山小学校とJR吹田北口の間	1
対象範囲外	佐井寺方面	8
	岸部方面（吹田市民病院）	7
	千里山月が丘方面	1
	阪急関大前駅方面	1
	千里山虹が丘～千里山月が丘～佐井寺	1

⑤ 運行時間帯の評価

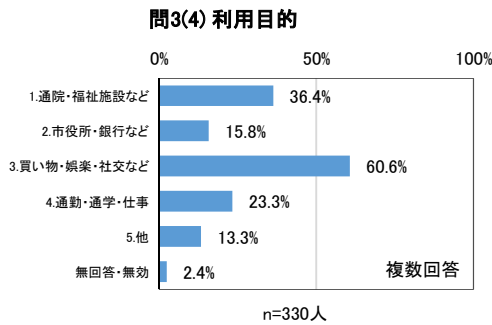
運行時間帯について、約 59%が「これで良い」と評価している。

始発と終発の要望としては、始発 6 時台、終発 22 時台が多かった。

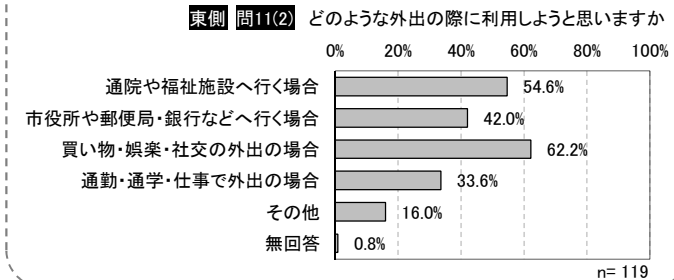


⑥ 利用目的

利用目的としては、「買い物・娯楽・社交など」が最も多く約61%であった。次に「通院・福祉施設など」が約36%、「通勤・通学・仕事」が約23%であった。

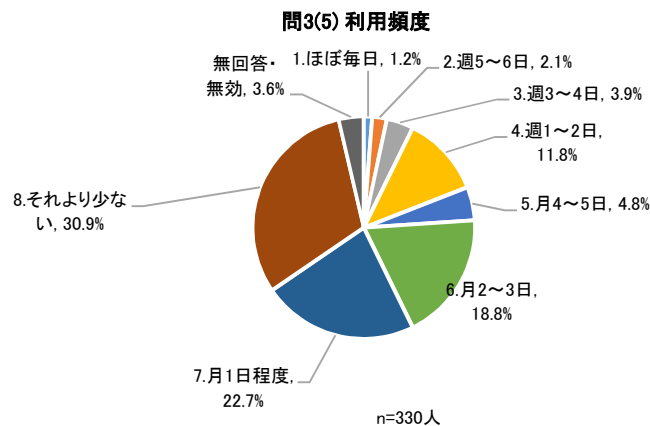


参考：H29年度



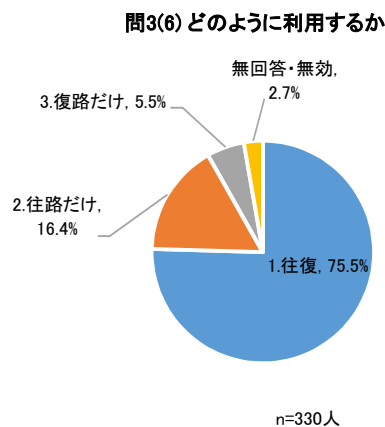
⑦ 利用頻度

利用頻度は、週1回以上利用する人の合計は約19%で、月に1回以上利用する人の合計は約46%、それより利用する頻度が少ない人は約31%であった。



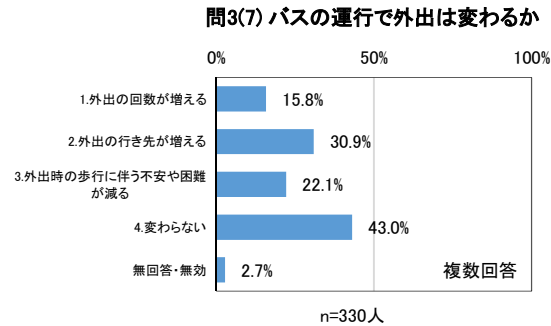
⑧ 利用形態

利用方法としては「往復」が最も多く約76%であった。



⑨ 新規バス路線の運行による外出行動への影響

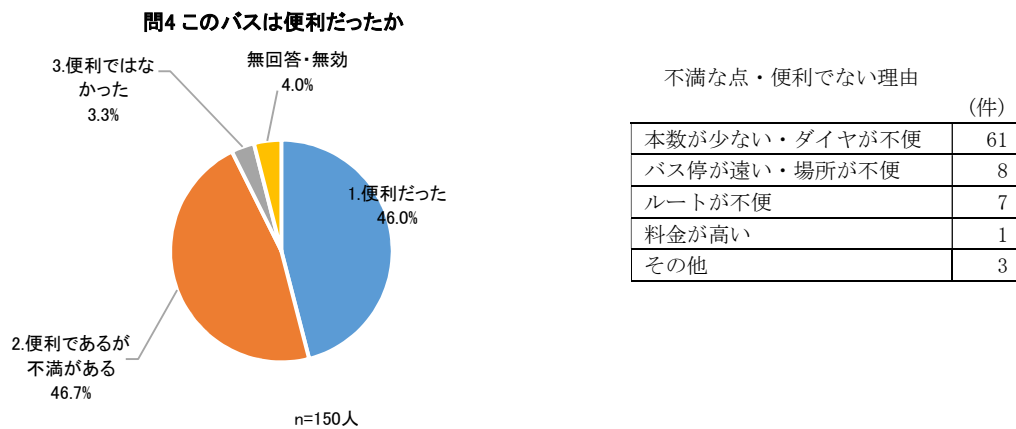
新規バス路線の運行に伴う行動の変化としては、「変わらない」が最も多く43%、次いで「外出の行き先が増える」が約31%であった。



⑩ 新規バス路線の評価

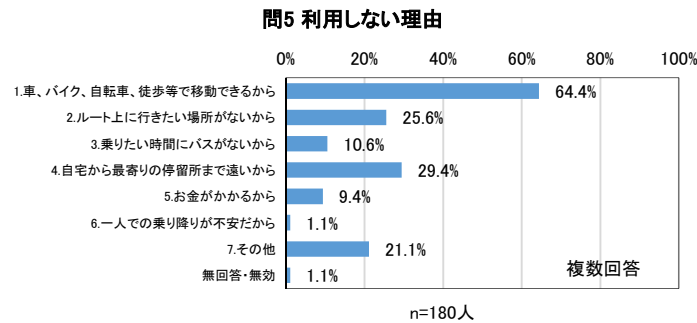
問2で新規バス路線を「利用した」と回答した人の評価として「便利だった」という評価が46%で、「便利であるが不満がある」が約47%であった。

回答者に不満な点・便利でない理由を伺うと、本数が少ない・ダイヤが不便といった意見が多かった。



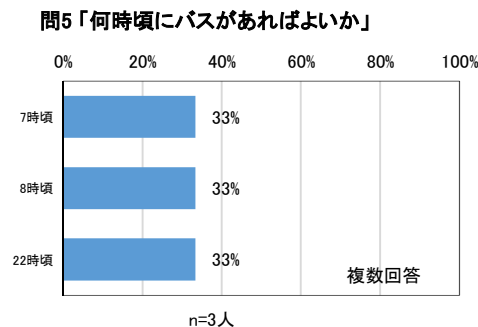
⑪ 新規バス路線を利用しない理由

問2で新規バス路線を「利用しない」と回答した人が利用しない理由として「車、バイク、自転車、徒歩等で移動できるから」が約64%と最も多く、ついで「自宅から最寄りの停留所まで遠いから」が約29%、「ルート上に行きたい場所がないから」が約26%であった。



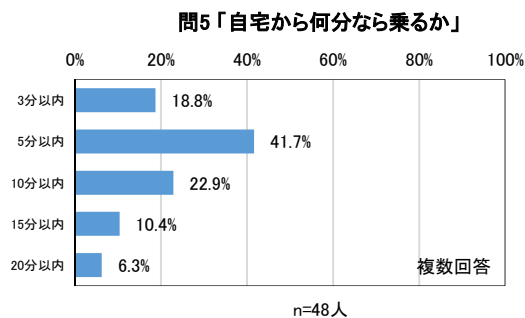
⑫ 何時ごろにバスがあればよいか

問5で「乗りたい時間にバスがない」と回答した人では、乗りたい時間帯として7時頃、8時頃、22時頃を希望する意見があった。



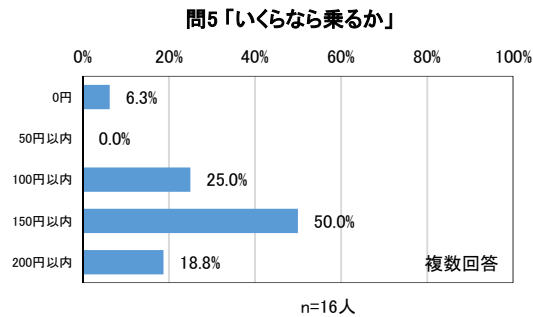
⑬ 自宅から何分なら乗るか

問5で「自宅から最寄りの停留所まで遠い」と回答した人では、自宅からバス停までの距離として5分以内を希望する回答が最も多かった。



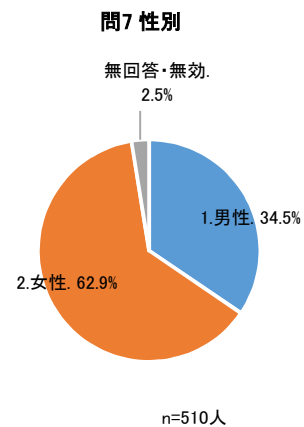
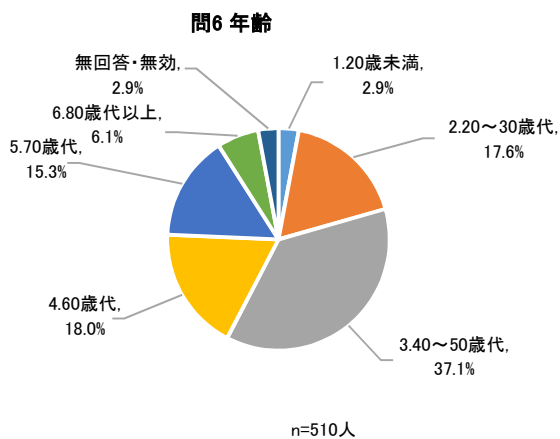
⑭ いくらなら乗るか

問5で「お金がかかる」と回答した人では、バスの運賃として150円以内を希望する回答が最も多かった。

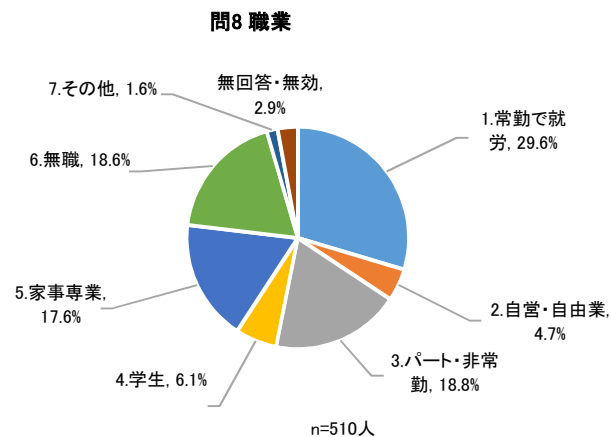


(2) 属性及び身体状態

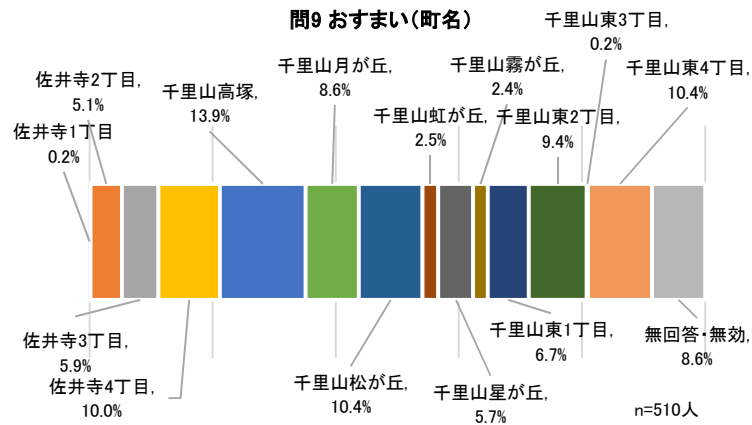
① 年齢・性別



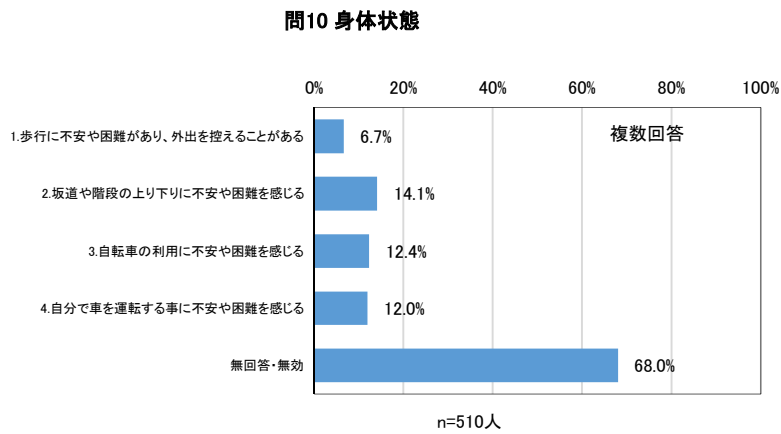
② 職業



③ おすまい（町名）



④ 身体状態



⑤ 普段の交通手段

